

“おいしい”から考えるアジアの環境問題 地産地消と知産知消

本日のレシピ

りそな・アジアオセアニア財団
環境事業・選考委員長
阿部健一



Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto, Japan

“おいしい”ものを食べたい

おいしいもの、て何？

個人の好み？

おいしく食べるということ？！

母親の手作り野菜

おいしいものを食べるのが環境保全？！

地産地消と知産知消



地産地消と知産知消

地産地消

身土不二

「身」と「土」と分かちがたい

地域のものを食べると体に良い

地元のものを地元で消費する

地域の旬のものを食べる

環境負荷の低減

『顔が見え、話ができる』関係

安心・安全



地産地消と知産知消

- 知産知消

遠く離れたおいしいものをいただきたい
たとえばコーヒーやチョコレート
交易はお互いが豊かになる手段
でも……

「物」(商品)だけでなく「物語」も
生産地(者)と消費地(者)を結びつける



本日のメニュー

おいしい話1

料理人コウケツテツさんのおいしい話

『アジアのおいしいもの』

おいしい、とは何だろう……

アジアを料理する

コウケンテツさんの考え



本日のメニュー

おいしい話2

麒麟(株)の林田昌也さんのおいしい話

「持続可能な農業を目指すCSV活動」

CSV (Creating Shared Value) て何？

みんなでおいしく食べるということ？

おいしさを分かち合うこと



本日のメニュー: 3時のおやつ

- 東ティモールのコーヒー
田代珈琲株式会社さん提供
田代和弘・社長
- インドネシアのカカオでつくったチョコレート
Dari K 株式会社さん提供
牛窪伶さん



りそなアジアオセアニア財団 環境事業(2011年～)

- 小さな試みが大きな動きを生むことがある

『ナッジ』:リチャード・セイラー

今年度のノーベル経済学賞

環境問題もちよつとした工夫で解決に向けて
動き出すことがあるのではないか

2014年～16年 嶋田奈穂子さん

東ティモール

2017年～19年 伊能まゆさん

ベトナム



パネルディスカッション

『アジアの環境問題をもっとおいしく考える』

知識・情報・経験

→ つながってこそ、わかちあってこそ
知恵や価値になる

CSV 共通価値の共創

